



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 昭和飛行機工業株式会社
 コード番号 7404 URL <http://www.showa-aircraft.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 酒巻 三郎
 (氏名) 白上 廣昭

TEL 042-541-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,634	△4.7	263	△1.5	186	△1.9	145	47.8
23年3月期第1四半期	4,862	5.4	266	7.7	189	30.7	98	2.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 54百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △181百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.61	—
23年3月期第1四半期	3.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	60,856	24,827	40.8	785.73
23年3月期	60,263	24,871	41.3	787.10

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 24,827百万円 23年3月期 24,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	2.0	500	△13.4	300	△15.8	150	86.0	4.75
通期	21,500	3.7	1,100	1.9	650	1.4	300	23.6	9.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	33,606,132 株	23年3月期	33,606,132 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	2,007,581 株	23年3月期	2,006,730 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	31,598,924 株	23年3月期1Q	31,616,434 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 当第1四半期の全社業績

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響で急激に落ち込んだ経済活動水準が持ち直す動きが見られたものの、本格的な回復には至らず、雇用・所得環境も震災の影響で悪化しました。

このような状況のもと、当社各事業分野とも厳しい環境になっており、当第1四半期の連結業績は、売上高46億34百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益2億63百万円（前年同期比1.5%減）、経常利益1億86百万円（前年同期比1.9%減）となりました。一方、四半期純利益は1億45百万円（前年同期比47.8%増）となりました。

② セグメント別の概況

[輸送用機器関連事業]

官公庁向けの受注が回復したものの、タンクローリー及びバルク車の出荷台数は伸び悩み、売上高は12億55百万円と前年同期比38百万円、3.0%の減収となり、セグメント損益は3億19百万円の損失（前年同期2億34百万円の損失）となりました。

[不動産賃貸事業]

商業施設において、個人消費の低迷や賃貸料の減少の影響を受け、売上高は15億79百万円と前年同期比86百万円、5.2%の減収、セグメント損益は5億60百万円の利益と前年同期比47百万円、7.8%の減益となりました。

[ホテル・スポーツ・レジャー事業]

ホテルの婚礼宴会やスポーツ施設は、東日本大震災後の自粛ムードの影響で来客数が減少し、売上高は11億49百万円と前年同期比71百万円、5.9%の減収、セグメント損益は12百万円の損失（前年同期0百万円の損失）となりました。

[物販事業]

(株)メトスにおいて、主力の業務用サウナ事業の低迷や暖炉事業の東日本大震災による影響により、売上高は5億92百万円と前年同期比28百万円、4.6%の減収、セグメント損益は41百万円の損失（前年同期74百万円の損失）となりました。

[その他事業]

売上高は、57百万円と前年同期比2百万円、4.5%の増収となり、セグメント損益は5百万円の利益と前年同期比2百万円、35.2%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は、前年度末に比べて5億92百万円、1.0%増加し、608億56百万円となりました。

売上債権の回収により受取手形及び売掛金が4億74百万円減少したことや、有形固定資産が減価償却等により4億19百万円減少した一方で、投資有価証券が株式の取得により7億93百万円増加、受注金額の増加により仕掛品が3億13百万円の増加及び、借入れの実行により現金及び預金が2億90百万円増加しました。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べて6億36百万円、1.8%増加し、360億28百万円となりました。

これは主として借入れの実行により借入金が増加したことによります。

(純資産)

純資産は、前年度末に比べて43百万円、0.2%減少し、248億27百万円となりました。これは、所有株式の時価下落等により、その他有価証券評価差額金が91百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想は、当初予想どおりに落ち着く見込みであります。

したがって、現段階では平成23年5月11日発表時の第2四半期累計期間の業績予想及び通期の業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当する事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,044	8,334
受取手形及び売掛金	3,256	2,781
商品及び製品	379	390
仕掛品	738	1,051
原材料及び貯蔵品	623	616
繰延税金資産	233	262
その他	255	253
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	13,526	13,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,909	28,562
機械装置及び運搬具(純額)	968	914
工具、器具及び備品(純額)	403	389
土地	12,557	12,557
その他(純額)	66	62
有形固定資産合計	42,905	42,486
無形固定資産		
のれん	199	187
その他	114	140
無形固定資産合計	313	327
投資その他の資産		
投資有価証券	2,982	3,776
その他	582	608
貸倒引当金	△47	△29
投資その他の資産合計	3,517	4,355
固定資産合計	46,736	47,169
資産合計	60,263	60,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,241	1,285
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	6,355	6,555
1年内償還予定の社債	15	15
未払法人税等	38	152
未払消費税等	63	92
賞与引当金	351	128
工事損失引当金	197	115
その他の引当金	10	10
その他	2,694	3,219
流動負債合計	11,967	12,573
固定負債		
長期借入金	11,273	11,735
受入敷金保証金	5,714	5,422
繰延税金負債	1,933	1,787
退職給付引当金	4,002	4,072
役員退職慰労引当金	222	162
その他	277	274
固定負債合計	23,423	23,454
負債合計	35,391	36,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,949	4,949
資本剰余金	7,648	7,648
利益剰余金	12,170	12,217
自己株式	△743	△743
株主資本合計	24,026	24,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	847	755
為替換算調整勘定	△1	—
その他の包括利益累計額合計	845	755
純資産合計	24,871	24,827
負債純資産合計	60,263	60,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,862	4,634
売上原価	3,605	3,356
売上総利益	1,257	1,277
販売費及び一般管理費	990	1,014
営業利益	266	263
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	41	36
違約金収入	2	—
訴訟費用受入	20	—
その他	19	12
営業外収益合計	84	48
営業外費用		
支払利息	93	72
その他	68	52
営業外費用合計	161	125
経常利益	189	186
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19
貸倒引当金戻入額	5	—
特別利益合計	5	19
特別損失		
固定資産除売却損	5	8
公共施設負担金償却額	3	0
訴訟和解金	—	7
その他	1	6
特別損失合計	10	23
税金等調整前四半期純利益	184	182
法人税、住民税及び事業税	216	148
法人税等調整額	△129	△111
法人税等合計	86	36
少数株主損益調整前四半期純利益	98	145
四半期純利益	98	145

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	98	145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△280	△91
為替換算調整勘定	0	—
その他の包括利益合計	△279	△91
四半期包括利益	△181	54
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△181	54
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	輸送用機器関連事業	不動産賃貸事業	ホテル・スポーツ・レジャー事業	物販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,293	1,666	1,221	621	4,803	55	4,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	37	5	2	45	68	114
計	1,294	1,703	1,226	624	4,848	123	4,972
セグメント利益又は損失(△)	△ 234	607	△ 0	△ 74	297	8	306

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの売上高の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	4,848
「その他」の区分の売上高	123
保証金受取家賃	4
セグメント間取引消去	△114
四半期連結損益計算書の売上高	4,862

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	297
「その他」の区分の利益	8
保証金受取家賃	4
のれんの償却額	△ 11
工事損失引当金繰入額	△ 21
全社費用(注)	△ 10
四半期連結損益計算書の営業利益	266

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	輸送用機器関 連事業	不動産賃貸事 業	ホテル・スポ ーツ・レジヤ ー事業	物販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,255	1,579	1,149	592	4,577	57	4,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	35	4	0	40	65	105
計	1,255	1,615	1,154	592	4,617	122	4,740
セグメント利益又は 損失(△)	△ 319	560	△12	△41	186	5	191

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及び福祉介護事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	186
「その他」の区分の利益	5
のれんの償却額	△ 11
工事損失引当金戻入額	82
四半期連結損益計算書の営業利益	263

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 営業費用の配賦方法の変更

従来、全社共通営業費用の各事業区分への配賦は、関連が明確な費用については各セグメント賦課し、それ以外の費用については、売上高、所有資産等を勘案した基準にておこなっておりましたが、当第1四半期連結会計期間から、関連が明確な費用については各セグメント賦課し、それ以外の費用については、売上原価比を基準とした配賦方法に変更しております。

なお、従来の全社共通営業費用配賦基準によって算出した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	輸送用機器関連事業	不動産賃貸事業	ホテル・スポーツ・レジャー事業	物販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,255	1,574	1,149	592	4,572	57	4,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	35	4	0	40	65	105
計	1,255	1,610	1,154	592	4,613	122	4,736
セグメント利益又は損失(△)	△ 304	551	△13	△ 40	191	5	197

5. 報告セグメントの売上高の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	4,613
「その他」の区分の売上高	122
保証金受取家賃	4
セグメント間取引消去	△105
四半期連結損益計算書の売上高	4,634

6. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	191
「その他」の区分の利益	5
保証金受取家賃	4
のれんの償却額	△ 11
工事損失引当金戻入額	82
全社費用(注)	△ 9
四半期連結損益計算書の営業利益	263

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。